

## 古典に親しむ

開倫塾

塾長 林 明夫

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。

今日は、古典のお話をさせていただきます。何のために古典を勉強するかといいますと、ずっと昔の方から受け継いでいる文化の DNA というものを知るためだと思います。古典というのは、我々に文化の DNA を伝えるものだと考えます。つまり、昔の人が、何を考え、何を感じ、どんな生き方をしてきたのかということを知る意味で、古典を勉強するということです。日本の文化の極致は、もしかしたら江戸時代にあるのではと思い、私は先日江戸博物館に行ってきました。とても勉強になりました。江戸時代に書かれたものを勉強すると、古典の勉強に取りかかりやすいのではないかと思います。

どのような勉強のしかたがよいかといいますと、学校から配付された教科書を勉強するのが一番です。教科書を、最初のページから大声で読むということです。読んでみると、古典にはリズムがあり、素晴らしくすがすがしい気分になります。1つの語句でも、現代の意味と違い、いろいろな使い分けがされているので、時折、辞書などを引いてみると楽しめると思います。例えば「世の中」という語句も、世間、社会、人情、名声などいろいろな意味で使い分けられていますので、その文章の中ではどの意味がふさわしいのか想像力を発揮しながら読んでいくとよいでしょう。古典は、訳さないとダメかということ、そんなことはありません。訳さなくてもよいのです。ですから、気楽に、大きな声で教科書を読んでみましょう。大人の方は、源氏物語や万葉集等好きな本を買ってきて、まずは現代語訳で読み、深く読んでみたいと思ったら古文のひもを解くというので十分かと思います。

「最後に一言」を毎週言っておりますが、一週目は「誰からも好かれる人になりなさい」、二週目は「成功する人は人から好かれる人です」、今週は「人に好かれるためには、好き嫌いをしない。そうすれば、よい人生がつかめる」ということです。そのためには、心の健康と体の健康を維持した生活が大切です。健康を維持するために、栃木県の温泉をぜひ、ご利用下さい。